

ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



南極観測船「しらせ」

No. **168** 函館商工会議所報
1995 — 10月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀 田 支 店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松 風 町 支 店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中 道 支 店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ぼんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上 磯 支 店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五 稜 郭 支 店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	え さん 支 店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁 天 支 店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七 飯 支 店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千 代 台 支 店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木 古 内 支 店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯 川 支 店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知 内 支 店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花 園 支 店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート
ローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代) 23-2101

- | | | | | | |
|--------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|
| ●湯川支店 | ☎57-0572(代) | ●上磯支店 | ☎73-2308(代) | ●美原支店 | ☎46-9121(代) |
| ●十字街支店 | ☎26-5544(代) | ●花園支店 | ☎55-2110(代) | ●高岡支店 | ☎43-1311(代) |

視点

1

一〇〇周年記念特集

2～6

・創立一〇〇周年記念式典・祝賀会／記念フ
ォラム／生涯学習国際シンポジウム／大
鹿児島展／南極観測船しらせ寄港

会議所のうごき

7～9

・東北・北海道商工会議所連絡会議／部会・
委員会報告／高規格幹線道路等の整備予算
獲得のため「全道総決起東京大会」／函館
マルチメディア推進協議会／経済視察団来
函／函館エアポートフェスタ／事務局日誌

調査レポート

10～13

・地域の景気 金融経済概況八月
・函館市の灯油・ガソリン価格動向
・アドバイスコナー
・魅力ある店づくり・街づくり

Q & A

16～17

・みんなの相談室 税務・労務相談

インフォメーション

18～20

・FAXサービス／優良商工従業員表彰のお
知らせ／入会有難うございます／会員サー
ビス事業／検定試験のお知らせ／金融説明
会のご案内／北海道最低賃金



◇今月の表紙

本所創立一〇〇周年記念事業の
一つとして招請した南極観測船「
しらせ」が入港、函館港を皮切り
に各地を巡り、その後、南極観測
に出発する。

三日間の函館港停泊中約八千人
の市民が足をはこび船内を見学し
た。

視点



九月二十九日、函館商工会議所創立一〇〇周年記念式典・祝
賀会が盛大に行われた。

改めて一〇〇年の重み、先達が築きあげた今日の会議所につ
いて想いを新たにしました。

多くの難局を乗り越え、それぞれの企業が努力をし、今日の
経済活動があることを再認識させられ、私達は先達と同じよう
に創意・工夫・努力をする決意を強く感じたのではないだろう
か。

課題の多いこの時代を皆んなで力を合わせ、発展につなげる
ことが、このあと一〇〇年後に改めて評価されることになるの
です。

この街に住んでよかったですと言われるように積極的な行動が求
められているのではないだろうか。

地域の活性化に付加価値を高める「人づくり」と「物づくり」
が、今我々に求められています。

それらの情報を、函館から全国に発信できる基地となること
が重要である。

そのためには企業の皆様方が前向きな姿勢にならなければな
らないと思います。

自ら行動することが重要なポイントとなるわけですから、苦
しい時こそ知恵を出すことが必要です。

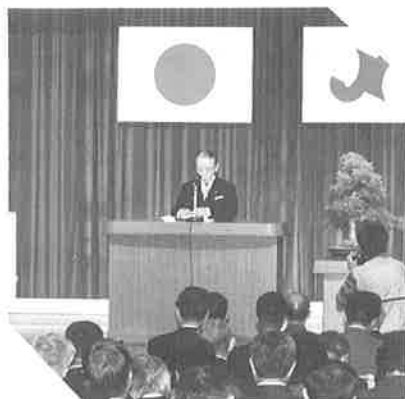
会議所としても皆様方の力になれるよう、経営相談・指導な
ど積極的に貢献出来るよう最大限に努力をおしまない決意で行
動したいと思っています。

地域に貢献し、行動する会議所として努力することを改めて
決意を表したい。

お陰さまで皆様方のご協力により、無事式典・祝賀会を終え
ることができ心から感謝申し上げます。

函館商工会議所創立100周年

商工会議所創立100周年記念



函館商工会議所創立100周年記念事業挙行

一世紀への飛躍を誓い 記念式典・祝賀会を開催

明治二十八年九月二十九日、全道で最初に当時の農商務大臣榎本武揚より函館商業会議所として設立認可を得た本所は、創立一〇〇周年記念式典・祝賀会を去る九月二十九日、函館国際ホテルにおいて市内外の来賓のほか、本所議員並びに会員など七百余名出席のもとに挙行し、一世紀の歩みを祝うと共に、二世紀への飛躍を誓い合いました。

式典は、小笠原副会頭の開会の辞で始まり、国家斉唱、物故者に対する黙祷を行った後、松本会頭から「函館は北の商都として隆盛を極めたが、二度に亘る戦乱と北洋漁業権益の喪失、また、度重なる大火、そして昭和六十三年の青函トンネル開通と併せ八十年続い

た青函連絡船の廃止など波瀾万丈の一世紀であった」と回顧した上で「先人が築いてこられた偉業をしっかり受け継ぎ、二十一世紀に向けて、地域の総合経済団体としての使命達成のため、尚一層の努力を重ねて参る所存であり、今後共よろしくご指導ご支援を賜りたい」旨の挨拶がありました。

また、多数の来賓を代表して、大西日本商工会議所副会頭（大阪商工会議所会頭）、下村北海道通商産業局商工部長（局長代理）、武田北海道出納長（知事代理）、伊藤北海道商工会議所連合会会頭、木戸浦函館市長の五氏より創立一〇〇周年を祝すとともにこれを機に、今後益々の商工会議所活動に期待する旨の祝辞が述べられました。

函館商工会議所創立100周年

次に、永年役員並びに議員、退任議員、永年事業協力者、創業百年以上会員事業所の表彰が行われ、それぞれの代表に松本会頭から感謝状が贈られました。続いて、高野副会頭からの記念事業発表では、実施する十三の事業を紹介し、これらの事業に対して函館市からの補助金交付や多くの方々よりご協力を賜ったことの報告がなされ、最後に、本所顧問でもある小口函館税関長より万歳三唱、沼崎副会頭の閉会の辞をもって式典を終えました。

引き続き行われた祝賀会では、松本会頭から式典を滞りなく終了したことのお礼と今後のご指導ご鞭撻を賜りたい旨の挨拶がなされた後、本所顧問でもある木村日銀函館支店長の祝杯により歓談に入り、和やかな雰囲気の中に祝宴は進められ、最後に、西川日本商工会議所常務理事より乾杯の発声、松崎副会頭の閉会の辞をもって祝賀会は、盛會裡に終了しました。

なお、次表には、式典当日感謝状ならびに表彰状を受彰された方々のお名前を掲載させていただきました。

誠におめでとうございます。

おめでとうございます!! 創立100周年記念特別表彰受彰者

(在籍順・敬称略)

1. 永年役員 (3期9年以上)

現役名	事業所名	氏名
相談役	辻木材(株)	辻才次郎
常議員	東栄(株)	棟方忠
相談役	日本化学飼料(株)	川田寛
副会頭	(株)テーオー小笠原	小笠原金悦
常議員	第二物産(株)	田中仁
会頭	(株)松本組	松本演之
副会頭	(株)エスイーシー	沼崎弥太郎
副会頭	(株)道水	高野洋蔵
常議員	ベンケイ綿(株)	飯田貢一
常議員	函館山ロープウェイ(株)	西野鷹志
常議員	兼藤漁業(株)	藤谷作太郎
常議員	(株)村瀬鉄工所	村瀬順一郎
常議員	ホンダブリモ函館(株)	松本栄一
常議員	(株)魚長食品	柳沢勝
常議員	(株)丸井今井函館支店	東口昭
常議員	北海道乳業(株)	田島久吉
常議員	庭本産業(株)	山田典夫

2. 永年議員 (3期9年以上)

事業所名	氏名
(株)陶陶亭	加地彦太郎
函館三菱ふそう自動車販売(株)	松崎勉
(株)ジャックス	大沼平八郎
(株)ニューリック	八田俊男
(株)長門出版社	長門一也
前側石油(株)	前側内匠
(株)斉藤組	斉藤八郎
(株)湯の川プリンスホテル	河内孝夫
真鉄工業(株)	倉崎六利
(株)高木組	黒田憲治
五稜郭タワー(株)	中野豊
(株)若松屋衣裳店	中野亮
小島商事(株)	小島悦郎
函館木工品製作販売(株)	近藤純悦
(株)森川組	森川基嗣
(株)精養軒	杉村吉彦
(有)湯ノ浜	金道太朗
(株)布目	石黒義男

竹林漁業(株)	竹林勝三郎
(株)丸又和田商店	和田一明
函館ポートサービス(株)	斉藤鉄男
(株)菅原組	菅原岩夫
丸ト豊山食品(株)	豊山秋央
(株)ユニークショップつしま	村馬孝一
(株)近藤商会	池見厚一
東一函館青果(株)	木戸浦辰夫
函不二屋本店	名取喜昭
函館米穀(株)	石上伊佐男
キングハイヤー(株)	今川重男

3. 退任議員 (5期15年以上)

氏名
鈴木武二・木間定次郎・菅泉
若山徳次郎・大総一郎・佐藤悦郎
堀田純一・荒木春一・中澤真一

(以上9名)

4. 永年事業協力者 (20年以上)

(1) 珠算検定委員	氏名
日本珠算連盟函館支部	福久孝三郎
日本珠算連盟函館支部	細田定雄
日本珠算連盟函館支部	加賀谷喜一
日本珠算連盟函館支部	砂田武久
日本珠算連盟函館支部	外崎スミ子

(以上5名)

(2) 共済事業業務委託事業所

共済名	事業所名
生命共済(幹事)	三井生命保険(株)函館支社
生命共済(幹事)	特定退職金共済(幹事) 大同生命保険(株)函館支社
生命共済(幹事)	特定退職金共済(幹事) 日本団体生命保険(株)函館支社
生命共済(幹事)	千代田生命保険(株)函館支社
特定退職金共済(幹事)	富国生命保険(株)函館支社
年金共済(幹事)	明治生命保険(株)函館支社

(以上6社)

(3) 専門相談員

相談名	氏名
経営相談(公認会計士・司法書士)	斉藤瞭
発明相談(弁理士)	早川政名
法律相談(弁護士)	大井勇

(以上3名)

(4) 友誼団体	函館青色申告会
	(社)函館地方法人会

(以上2団体)

5. 創業100年以上会員事業所

創業	事業所名	創業	事業所名
万延元年	(株)千秋庵総本家	明治23年	(有)柳川商店
明治元年	(株)ヤマニ黒川水産		(有)ヤマコ楽器店
	(株)さくらば紙店		(有)金豊菅浦商店
	(株)太刀川商店		見本生輪(株)函館支社
2年	金森商船(株)	24年	(有)内山巴香堂
3年	(株)山辰佐藤商店		(株)やすけフーズ
	大和石材工業(株)		(有)丸南本店
5年	なか川菓子舗		(有)三浦商店
6年	(株)小田桐養護社	25年	南カネナ市田商店
7年	(株)魁文舎		カネダイ大竹量商店
8年	(株)イチヤマ商店		大谷(有)
10年	(有)水島生花店		(有)五香商店
12年	(株)丸一村商店		ハヤシ靴店
	(株)五島軒		函館丸今井函館支店
	(株)ハツネ		(株)森川組
13年	(有)梅津商店		函六光堂神仏具店
	三井物産(株)函館出張所		高井板金加工所
16年	佐々木豆腐店	26年	日本銀行函館支店
	白崎薬品(株)		函館薬業組合
	(株)宮原かまぼこ		ヤマス函館船具店
18年	伊藤商事(株)	27年	(有)和泉日光堂
	及能(株)	28年	(株)町出商店
	北船興業(株)		(以上56社)
	(株)真壁商店		
20年	(株)カネタケ菅原忠治商店		
	(株)精養軒		
	ニューオーチャード(株)		
	株式会社銀行函館支店		
	小池田表具内装店		
	(有)梶原商店		
22年	(有)花野鉄工所		
23年	赤帽子屋		
	日本セメント(株)		
	上磯工場		
	泰商事(株)		

函館商工会議所創立100周年



ユーモアをまじえながら語る 鈴木 健二氏

二十一世紀への飛躍を求めて 本所創立二〇〇周年記念フォーラム

本所創立一〇〇周年記念フォーラムが北海道新聞社との共催により去る九月九日、「海峡の街―二十一世紀への飛躍を求めて―」をテーマに函館国際ホテルで開かれ、約八百人の市民が熱心に講演・パネルディスカッションに聞き入りました。

はじめに行われた基調講演で

は、元NHKアナウンサーで現熊本県立博物館館長の鈴木健二氏を迎え「ふるさとづくり、人づくり」というテーマで話が進められました。

鈴木氏は、「函館は人の心の落ちつきのある静けさが都市の活気と上手に調和し、日本で私が好きな街の一つだ」と語り、「函館らしさを活かした世界に誇れる街づくりを提唱しました。そして「まちづくりは行政が何をしてくれるのかなどと期待することでなく、函館をどうしていくか、小さな事でも市民一人一人が自分の生活の中で考えることであり、そうして人の心を興していくことが真の街興しです。」と締めくくりました。

引き続きのパネルディスカッションでは、コーディネーター以下四人のパネリストによって産業・

文化・交通・国際化・交流・青函新時代といった話題を中心に議論が進められました。中には青森・函館両市を青函市としてはどうか、絵になる街函館に映像ミュージアムを、という斬新な意見も飛び出すなど、活発な意見交換に会場を訪れた市民も熱心に聴講しました。



みちのく銀行頭取
大道寺 小三郎氏



道新函館支社報道部長
鎌形 敏雄氏



歌手(函館出身)
新谷 のり子氏



函館製網船具(株)相談役、
本所相談役 若林利次氏



鉦研工業(株)取締役会長
持田 豊氏

函館商工会議所創立100周年

豊かなライフデザイン

第五回生涯学習国際シンポジウム

「活力ある街づくりに向けて」

本所創立一〇〇周年記念事業である「第五回生涯学習国際シンポジウム」は「はこだて」は通商産業省との共催で、去る九月二十五日、ホテル函館ロイヤルを会場に開催されました。

今回のシンポジウムは、商工会議所の機能を活かしつつ効果的な生涯学習社会を構築するため、地



熱心に討議するパネリスト

域社会や企業での生涯学習の在り方などを学ぶためのものです。

当日は、会場一杯の聴講者約六百名が参加して、スペシャルトーク、パネルディスカッションに熱心に耳を傾けました。



宮田 隆氏 ヤクルト本社副社長で函館出身である宮田隆氏からは、各地の観光状

況を参考にした上で、長崎と函館とを比較し観光振興への官民の取り組みほか、高齢社会に対応した街づくりについて講演されました。



川淵 三郎氏 Jリーグチェアマンである川淵三郎氏は、Jリーグ

労話、地元へサッカーチームを受け入れた場合の経済効果などのはか、スポーツがいかに地域と関わりが必要であるかについて講演されました。



三枝 成彰氏 函館を舞台にしたNHKテレビの「北の家族」や、昨年の大河ドラマ

「花の乱」のテーマ曲を作曲した三枝成彰氏は、西洋文化の中に日本独自の発想をもって、作曲、デザインにあたることの必要性について講演されました。

◎ パネルディスカッション

猿谷東京女子大名誉教授、乾通産省サービスマネジメント部長はか、地元からは本所副会長でもある沼崎函館国際観光協会会長、ウィクトル・ロシア極東大学函館校長など六名

開会

主催挨拶 北海道通商産業局長 梅田 厚彦
函館商工会議所 会頭 松本 演之
来賓祝辞 函館市長 木戸浦 隆一様

スペシャルトーク1

テーマ 「ゆとりある生活と地域の活性化について」
講師 宮田 隆氏 (株)ヤクルト本社取締役副社長

スペシャルトーク2

テーマ 「生涯学習としてのスポーツについて」
講師 川淵 三郎氏 (日本プロサッカーリーグ(リガ))チェアマン

パネルディスカッション

テーマ 「豊かなライフデザインとして生涯学習に求められるもの」
コーディネーター

平野 哲行氏 (株)平野デザイン設計代表取締役社長

パネリスト

猿谷 要氏 東京女子大学 名誉教授
秋沢 志篤氏 (株)am/pm ジャパン 代表取締役社長
小作 エルシー氏 シンガポール政府観光局 日本支局長
ネザムトチノフ・ヴィクトル氏 ロシア極東国立総合大学 函館校 校長
乾 敏一氏 通商産業省 産業政策局 サービス産業課長
沼崎 弥太郎氏 (株)函館国際観光協会 会長

スペシャルトーク3

テーマ 「文化は本当に必要かー文化は国家の安全保障ー」
講師 三枝 成彰氏 作曲家

をパネリストとして、平野デザイン設計社長をコーディネーターに、パネルディスカッションを行いました。

各パネリストからは、それぞれの立場から生涯学習への企業や地域の役割などについて意見が出されました。

◎ トワイライトコンサート

本シンポジウムの講師として参加された三枝成彰氏が中心となつて、チェリスト十二人による「トワイライトコンサート」が同日夕方から旧函館区公会堂を会場に開催され、聴衆者を魅了しました。



セレモニーで挨拶する岩崎会頭・来店者を笑顔で迎えるミス鹿児島

第二回 大鹿児島展開催

名産品と観光をPR

本所創立一〇〇周年記念協賛事業として、鹿児島商工会議所、鹿児島県特産品協会、鹿児島県観光連盟の主催で九月二十八日から十月三日まで、丸井今井函館支店の七階大催事場で盛大に開かれました。

これに先立ち、前日の二十七日には、鹿児島商工会議所、ミス鹿児島一行が、函館市、本所への表敬訪問を行いました。

鹿児島からは、岩崎会頭、大西副会頭など八名が本所を訪問しましたが、岩崎会頭から今回の「大鹿児島展」を契機に今後とも定期

的に開催するほか、函館側も鹿児島での物産展について検討し、経済交流を促進したいとの申し出がありました。

大鹿児島展開催初日には、鹿児島・函館両会議所の会頭などが参加し、テープカットが行われた後、六日間に渡り南国鹿児島島の焼酎、さつま揚げ、かるかん、黒豚などの食品のほか、屋久杉の工芸品、大島紬などの物産と、桜島に代表される観光を函館市民へ大いに宣伝して盛会裡に終了いたしました。

南極観測船「しらせ」 函館港入港

去る九月一日から四日までの間、本所では創立一〇〇周年記念事業の一環として南極観測船「しらせ」を招請し、船内の一般公開を行いました。

これは、南極観測の意義を広く知ってもらうことを目的に行われたもので、「しらせ」の函館港入

港では岸壁で勇壮な太鼓による歓迎セレモニーが開かれ、入港式では本所松本会頭や木戸浦函館市長の挨拶、ミスはこだてから花束贈呈が行われました。

引き続きの特別公開では、まづ加藤艦長より「しらせ」についての解説があり、簡単な質疑応答

の後船内見学となりました。そして操舵室や艦長室、気象レーダーを備えた通信室などをまわりながら、長期間にわたる航海のためにビデオが数千本積んであることや日本の南極観測船は世界最大の砕氷船でもあるという事、一度の砕氷にドラム缶数本の燃料が必要なこと等説明を受け、最後に甲板でヘリコプターやパネル等を見学しました。

また九月一日から三日までの一般公開では大勢の市民が見学に訪れ、あわせて約八千人の人々が賑わいました。



函館港での歓迎セレモニー

景気対策の推進等を陳情

東北・北海道商工会議所連絡会議

第三十回東北・北海道商工会議所連絡会議は、去る九月六日、郡山市で開催され、東北側四十三、北海道側三十三の商工会議所から会頭、副会頭等二百余名が参加、本所からは、松本会頭、小笠原副会頭など四名の役職員が出席しました。

本会議では、東北商工会議所連

合会の齊川会長（仙台商工会議所会頭）を議長に選出して議事に入り、(一)景気対策の推進について、(二)東北・北海道新幹線のフル規格による建設促進ならびに鉄道交通網の整備促進について、(三)東北・北海道縦貫・横断自動車道等の建設促進ならびに道路網の整備促進について、(四)東北・北海道の空港

ならびに航空網の整備促進について、(五)北海道東北開発公庫の機能の拡充強化について、(六)大店法に係わる商業調整と街づくりへの配慮ならびに小売商業振興対策の推進について、(七)北方領土返還要求運動の推進についての七件の議案を審議し、いずれも満場一致で原案の通り採択されました。

そして、九月二十日には、本所から松本会頭が参加し、関係省庁に陳情を行いました。

に伴ない空席となっていた部会長の選任を行うため、理財部会が本所特別室において開催されました。当日は十二名が出席し、協議の結果部会長には藤中雅信氏（㈱北海道拓殖銀行函館支店取締役支店長）が選任されました。

なお、任期につきましては、前任者の残任期間（平成九年九月三十日まで）です。

部会・委員会等報告 9月

文教委員会

去る、九月一日日本所において、文教委員会が、小笠原担当副会頭、池見文教委員長他八名の委員が出席して開催されました。当日は函館市の井上企画部長より、函館市高等教育懇話会での高等教育機関整備の提言に基づき、国立大学、公立大学、市立函館病院高等看護

学院の短期大学化などの現状報告と、今後の取り組みについて説明がなされたのち、活発な意見交換が行なわれ成会裡に終了しました。

理財部会

去る九月十二日、前任者（㈱北海道拓殖銀行函館支店取締役支店長渡部明男氏）の転出による退任

第五回サハリン研究会が、九月二十二日に本所会議室で開催されました。

研究会では、北海道の主催により九月七日から実施された、オハを中心とした視察について参加者から報告が行われたほか、『サハリン沖石油・天然ガス開発関連物資供給拠点形成の可能性に関する調査研究』について「はまなす財団」の委託を受け報告書のまとめを行っている「三井情報開発㈱総合研究所」担当者と、今後の対応を含めた意見交換を行いました。



提案説明する松本会頭

高規格幹線道路等の整備予算獲得のため

「全道総決起東京大会」並びに「中央陳情」実施

道内の高規格幹線道路等の整備に係わる来年度の予算獲得のため「全道総決起東京大会」が、去る八月二十九日、東京の都道府県会館で、北海道知事をはじめ、道内選出国会議員のほか、本所からは松本会頭も参加をし、盛大に開催されました。

大会では、道内経済活性化のため幹線道路網の整備は不可欠であり、予算獲得へ向け、関係者一丸となって取り組むとの大会決議が行われたほか、建設省、北海道開発庁、日本道路公団、国土庁からそれぞれ、本道関係予算獲得のため努力するとの決意が示されました。

この後、関係省庁への陳情となり、松本会頭は、小樽市長など共に日本道路公団班となりました。この中で、松本会頭から、北海道自動車縦貫道の早期完成は、道南地域の経済活性化にとって重要であり、公団側の積極的な対応を

お願いをしました。

これに対して公団からは、埋蔵文化財の調査等から若干遅れているが、地域の意向は十分認識しており国の予算化へ向け努力するとの発言がありました。

函館マルチメディア 推進協議会発足

近年、静止画像、動画像や音声などを総合的、対話的に取り扱うことができるマルチメディア技術が注目されていますが、このマルチメディアの普及・研究と、各方面での活用を模索していくことを目的に「函館マルチメディア推進協議会」が発足、去る九月二十五日設立総会が開催されました。

総会では、会則等組織の基本的骨子が決議され、会長には準備委員会委員長として準備を進めてきた中村北海道教育大学函館校教授が就任、改めて産・学・官・市民

一体となってマルチメディアの推進に取り組んでいくことが確認されました。

今年度の具体的事業としては、平成八年二月頃を目処にマルチメディア関連のデモンストレーションや話題のインターネット体験を併せた記念イベント「マルチメディア推進セミナー」の開催を予定しています。

また、今後は多岐にわたる事業への取り組みが予想されることから、テーマごとに専門部会を設置し、会員自身が積極的に活動に参加、事業展開していくこととなります。

ご入会のお申し込み等、本協議会に関するお問い合わせは事務局本所指導課までお願いいたします。
(☎二三一一八一内線六三)

静岡商工会議所等より 経済視察団来函

九月二日、高岡市末広町商店街の一行六名が来函、午前十時より本町会館に於て、五稜郭商店街役員との交流研修会が行なわれまし

た。また九月十七日には静岡商工会議所より視察団の一行二十名が来函、午後一時より本所にてウォーターフロント開発の現状等についての説明を受けた後、現地視察を行いました。さらに九月十八日には静岡県富士宮六社会(富士宮商工会議所の外郭団体)の一行七名が来函、午後一時三十分より、メイホク食品舗を視察しました。

函館エアポートフェスタ開催

九月二十日の「空の日」にちなみ、空港に親しんでもらおうと、九月二十三日「函館エアポートフェスタ(同実行委員会・空港事務所・本所ほか)」が函館空港エプロンを中心に開催されました。

当日は好天にも恵まれ、約六千人が模擬バスポート体験と空港内一周バスツアー、飛行機および空港関係車両の展示、消防車両による放水訓練およびヘリコプターによる吊り上げ救難訓練、青空市・フリーマーケット、インスタントシニア体験などを楽しみました。



事務局日誌

9月

*正副会頭会議

- 12月 第24回正副会頭会議
- 27日 第25回正副会頭会議

*部会

- 12月 理財部会

*委員会

- 1日 文教委員会

*会議(日商)

- 19日 第17回中小企業・税制合同委員会
第5回流通・運営合同委員会
- 20日 第440回常議員会・第137回議員総会
- 21日 第82回通常委員会総会
懇親パーティー

*会議(道商連)

- 4日 ビジョンフォローアップ検討委員会(新規収益事業検討委員会)
- 11日 平成7年度第2回金融税制委員会
第2回中小企業委員会合同委員会

*会議(ブロック)

- 6日 第30回東北、北海道商工会議所連絡会議視察会・昼食会
第30回東北、北海道商工会議所専務理事・事務局長会議
第30回東北、北海道商工会議所連絡会議本会議・講演会
懇親会

*審査会

- 21日 第6回小企業等経営改善資金審査会

*諸会議

- 1日 平成7年度函館空港「空の日」幹事会
- 2日 高岡市末広町商店街振興組合商店街交流研修
- 4日 サハリン研究会事前打合せ
- 8日 函館マルチメディア推進協議会設立準備委員会
創立100周年記念事業第5回生涯学習国際シンポジウム
'95inはこでて第2回実行委員会
- 12日 函館空港連絡協議会
- 13日 函館コンベンションビューロー設立準備会
- 18日 議員会正副会長・幹事長会議
函館地区税務指導協議会
(社)内外情勢調査会函館支部懇談会
- 19日 日本団体生命保険(株)ご契約者懇談会
平成7年度中小企業向け融資制度等説明会(経営指導員研修一般コース)
- 20日 函館市販売士協会役員会
- 21日 函館マルチメディア推進協議会設立準備委員会
サハリン研修会
- 25日 函館税務署指導員税務研修会
函館マルチメディア推進協議会設立総会
- 26日 函館繊維商組合役員会
- 28日 創立100周年記念事業のびゆくはこでて産業展第2回出席者会議
(財)日本特情処理開発協会平成7年度秋季情報処理技術者試験実施に係わる説明会

*講習・催物

- 1日 (社)精密工学会北海道支部精密工学会地域講演・講習会
- 13日 経営相談
- 19日 複式(商業)簿記事務講座(～11/14毎週火・金曜日)
- 20日 中小企業相談所移動相談室
- 21日 理容・美容業経営講座「明日に発展するヘアビジネス実践論」
- 22日 法律相談
- 24日 '95函館ハーフマラソン大会
- 28日 大鹿児島展(創立100周年協賛事業 ～10/3)
発明相談
創立100周年記念花電車運行(～9/29)
- 30日 全国高等専門学校第6会プログラミングコンテスト(～10/1)
はこでて生涯学習フェスティバル'95(～10/1)

*刊行物

- 4日 所報「ともえ」9月号 No167
- 5日 小冊子「不動産登記法の見方と担保権の知識」
小冊子「ストレス管理と心の健康」
小冊子「中小企業のためのマルチメディア活用法」
小冊子「創業・開業支援ハンドブック」
小冊子「企業の製品安全管理体制のつくり方」
- 8日 創立100周年記念欧州視察旅行報告書

*相談・診断

- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|---|----|-----|
| 金融 | 53 | 税務 | 12 | 経理 | 7 | 経営 | 53 |
| 労働 | 0 | 取引 | 0 | その他 | 0 | 合計 | 125 |

*貸室

- 10

*文書受信

- 216

*発信

- 16

*検定・大会

- 3日 平成7年度第2回4級ワープロ技能検定試験
- 10日 第53回全道珠算競技大会

*陳情・要望

- 12日 函館空港整備促進連絡協議会新潟一函館間の定期航空路開設に関する陳情、広島一函館間の定期航空路開設に関する陳情
- 20日 第30回東北・北海道商工会議所連絡会議決議事項にもとづく中央要望
- 27日 函館空港整備促進連絡協議会函館一仙台間の定期航空路の開設に関する要望

*展覧・その他

- 1日 創立100周年記念事業南極観測船「しらせ」函館港寄港入港歓迎式典・艦内特別公開
南極観測船「しらせ」加藤艦長他表敬訪問
南極観測船「しらせ」函館港寄港歓迎レセプション
- 2日 平成7年度第3回GM会
南極観測船「しらせ」艦上レセプション
- 4日 平成7年度「いかの街はこでて」キャンペーン(～9/5)
- 5日 平成7年度障害者職場見学会
(財)テクノポリス函館技術振興協会'95青函交流事業(～9/6)
- 6日 青森県山口交流協会ロシア旅行(～9/13)
エジソサハリンスク市副市長他表敬訪問
- 7日 高野浄蔵氏函館市功労者受賞祝賀会
静岡県商工会議所建設部会・視察会来所
- 8日 富士宮商工会議所産業視察
(社)茶道裏千家淡交会第36回北海道地区大会懇親会
小山商工会議所斎藤専務理事他来所
- 9日 '95室蘭産業テクノフェア
(社)茶道裏千家淡交会第36回北海道地区大会式典
創立100周年記念事業特別講演会
(社)函館青年会議所創立45周年記念祝賀会
- 10日 陸上自衛隊函館駐屯地創立45周年自衛隊函館地方連絡部創立39周年記念祝賀式典
- 11日 中小企業製造物責任(PL)対策セミナー
- 12日 常陸北海道運輸局長表敬訪問
- 13日 日本販売士協会小林事務局長来所
北海道行政書士会佐藤函館支部長来所
北海道運輸局長歓迎昼食会
- 18日 大総一郎様に感謝する会
- 22日 日本経済新聞社札幌印刷25周年記念パーティー
米国大使館本堂副館長表敬訪問
函館公共職業安定所上田相談員来所
- 23日 函館ハーフマラソン大会開会式前夜祭
空の日函館エアポートフェスタ'95
(株)サトー建機新社屋落成祝賀パーティー
- 25日 創立100周年記念事業生涯学習国際シンポジウム'95inはこでて
創立100周年記念事業生涯学習国際シンポジウム'95inはこでてトワイライトコンサート
- 27日 平成7年度北海道地方発明表彰式、記念祝賀会
会頭主催鹿児島商工会議所一行歓迎会
大鹿児島展関係者懇談会
鹿児島商工会議所会頭他一行表敬訪問
- 28日 大鹿児島展テーパーカット
議員会鹿児島商工会議所議員との親睦ゴルフ
議員会鹿児島商工会議所議員との親睦会
- 29日 創立100周年記念式典
創立100周年記念祝賀会

セメントは、台湾向けなど海外からの需要好調に加え、災害復旧を中心とした官公需の堅調持続もあってフル生産を継続しているほか、生コンも、公共工事向けを中心に引続き高水準の出荷となっている。一方、段ボールでは、これまで出荷の遅れていた青果物に動意がみられたものの、全般的な荷動き低調を背景に低水準の生産となっている。また、合板は、阪神復興関連の需要先ずれを反映し高水準の在庫を抱えているが、円高による原木コストの低下メリットもあってこれまでの生産水準を維持している。また、漁網は、低調な需要動向に変化は窺われず依然として抑制的な生産体制を継続している。

(4) 建設関連

8月の管内公共工事請負額は、5カ月振りに前年を下回ったものの、なお高水準で推移している。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数は、持家を中心にこれまで高水準で推移してきた反動から足許やや頭打ち傾向が窺われる。

(5) 農業・漁業

農業では、水稻の生育は平年並みながら、8月中旬以降の降雨により馬鈴薯等主要農産物の作柄は全般的に不振で品質の低下もみられる。漁業では盛漁期である近海真イカ漁が天候不順の影響等から低調な水揚げとなっているほか、渡島管内コンブ漁も、降雨により足許の生産は昨年を下回って推移している。

(6) 消費関連

8月の市内大型小売店の売上高は、衣料品がほぼ前年並みの水準に回復したものの、天候不順の影響から来店客数が伸び悩んだこと

等から、全体では前年比マイナス1.7%と8カ月連続の前年割れとなった。家電販売ではパソコン等情報家電やエアコンは引続き好調に推移したものの、AV関連商品や冷蔵庫、洗濯機等白物家電の売行きには一服傾向がみられた。また、8月の新車登録台数は、小型車の不振に加え普通車も前年割れとなったことから、全体でも同マイナス7.8%と前年を下回った。この間、観光・レジャー面をみると、団体客の入込みが依然として低調なことを主因に、8月の主要ホテル宿泊客数は同マイナス2.0%前年を下回った。

3.金融事情(8月中)

実質預金をみると、公金預金が工事代金の支払増加等を背景に低調な推移となったほか、一部に金融収支の改善を企図し借入金返済のために預金を取崩す動きがみられたものの、全体としては、末残前年比プラス2.1%と法・個人預金ともに堅調地合を継続した。また貸出は、前向きな資金需要には引続き動意が窺われないものの、住宅関連資金や小口の更新投資等が散見されたほか、地向体向けの貸出増加もあって引続き同プラス3.2%と前年を上回っている。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期、短期金利とも低下し、全体では月中マイナス0.140%の低下となった。

銀行券は、月中66億円の還収超とほぼ前年(同62億円の還収超)並みの動き。

財政収支は、郵便局の支払い減少を主因に、月中26億円の受超と前年(同11億円の払超)とは様変わり動き。

データをチェック!

3世帯に1台はワープロを所有

～家庭へのOA機器の普及～

企業でのOA化が進んでいる現在、家庭での普及はどのようになっているのでしょうか。

OA機器の代表であるパソコンは、ここ数年11%前後の普及率をたどっていました。ところが、平成5年度末の普及率は、13.9%6年度末では15.9%と、今まで以上の伸びを示しています。その要因は、新しい基本ソフトの開発により、外国製のパソコンでも日本語を使うことができるようになったことです。そのため、外国製の低価格なパソコンの普及をはじめ、映像や音声、通信など、幅広いメディアへの対応ができるようになったこと、さらに操作自体が簡単になったことも普及の増加に一役買っています。

一方、ワープロは3世帯に1台の割合で普及しています。ところが、対前年比を見ると平成元年度末に29.3%増であった増加率は年々減少し、6年度末には4.1%と緩やかな伸びになっています。ワープロを購入したいと希望した家庭には、ほぼ行き渡り、いまは買い替え時期に当たると考えられます。

パソコン、ワープロの普及状態

